

製作意欲が高く愛着のあるものづくり

実用性の高いイスづくりを通して

<概要・ねらい>

生徒が愛着を持って使用できる作品を、十分な強度を持ったイスづくりを通して実践している。イスの強度をあげるため、脚部は鳥居型で組みつぎし、ねじで固定する。電動ドライバーを使用することで、製作時間の短縮と作品の精度をあげている。材料は身近なホームセンターなどで加工して購入できるものを使用することで、生活での実践力を育てる。ある程度加工した材料を使用することで、失敗が少なく作品の完成度が高い。このため、生徒の製作意欲は高まってくる。

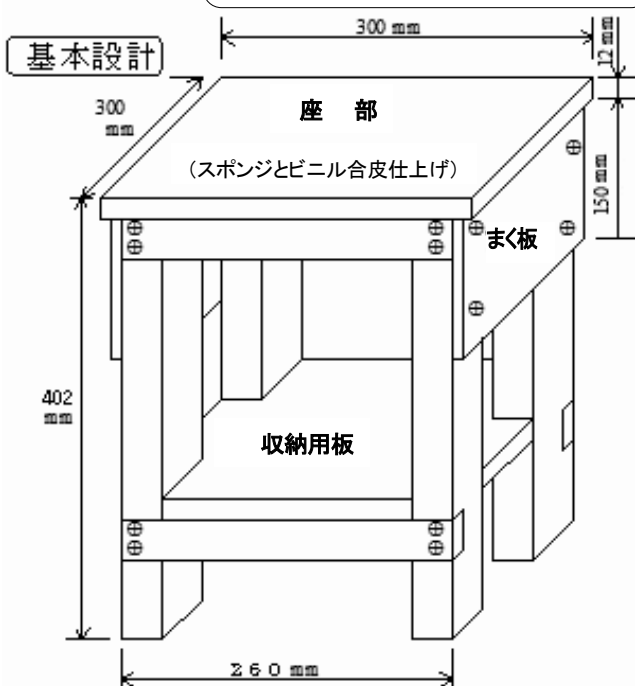
1. はじめに

これまで取り上げた題材を考えて見みると、実習において材料の特徴や加工技術は習得するものの、作品が完成できなくても気にしなかったり、持ち帰りをしないという生徒がみられた。そこで生活に実用的なイスを製作することで、素材の特徴や加工技術を習得するのはもちろんのこと、生徒の興味・関心を高め、家庭でも愛着をもって使用できる作品を製作させている。

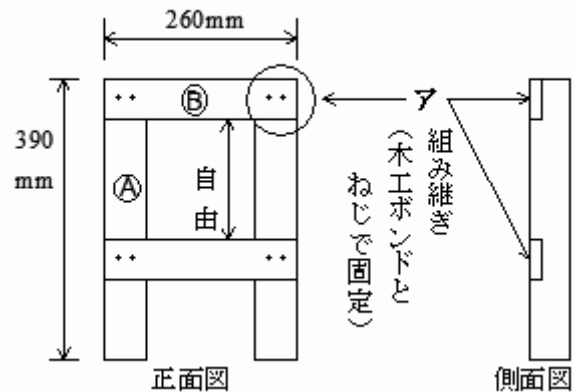
2. 製作

①基本設計図

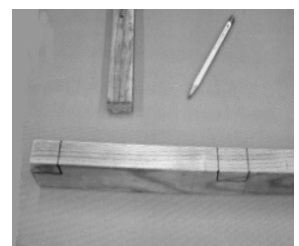
4mの角材から10本とれるようにするため高さを390mmとした。



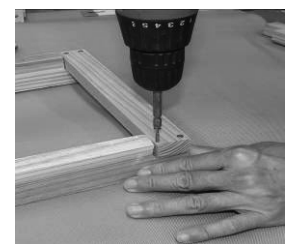
②脚部の製作 (2個)



○組みつぎの様子

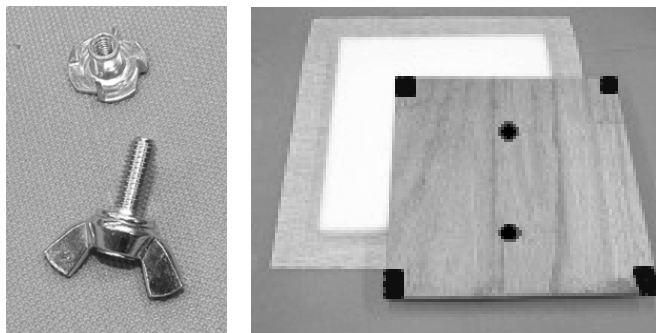


- ・材料を直接合わせ2カ所けがきをする。
- ・Aの下部 (Bの取り付け位置) は自由。

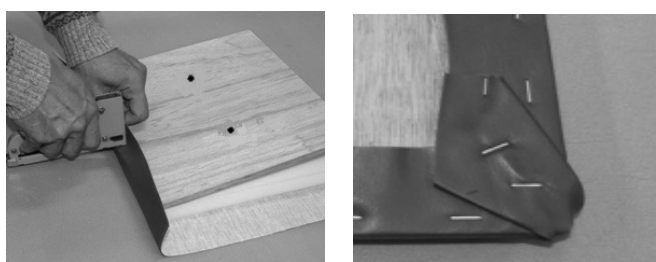


- ・Aの上部はのこぎりで加工する。
- ・Aの下部はのみを使用してかき取りを行う。
- ・事前に下穴をあけ、ねじと木工ボンドで組み立てる。

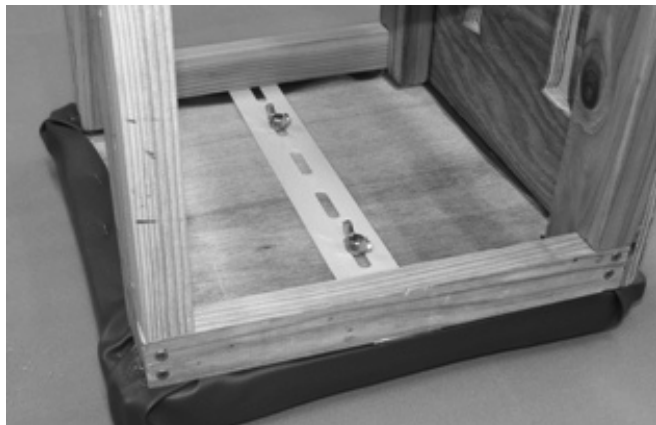
③座部の製作と固定



使用する合板に鬼目ナットを取りつける。
合板の角は、ガムテープで補強する。



タッカーを使用し対面ごとに固定する（角は最後）。
※合板の裏表を間違えないように注意する。



平アングル(30cm)に穴をあけ、脚部にねじで取りつける。
座部と平アングルを蝶ビスで固定する。

④材料

名称	規格(寸法)	数量
座部・収納用板	合板(300×300×12)	2
まく板	地域素材(300×300×12)	1
脚部用角材①	杉(390×48×22)かんな済	4
補強用角材②	杉(260×32×17)かんな済	2
平アングル	30cmにカットされたもの	1
スポンジ	(300×300×20)	1
ビニール布	(400×400)2色程あるとよい	1
ねじ	スマートビス 30mm	約30

3. 時間配当 (20 時間)

- 技術の果たしている役割(1)
- 材料の特徴と加工方法(2)
- 製図のきまり(等角図・キャビネット図)(2)
- 作品作り(14)
 - ・脚部の製作(6)・座部の製作(3)・組み立て(5)
- 学習のまとめ(1)

4. おわりに

電動ドライバーは、げんのうよりは静かで使いやすいので、生徒の製作意欲も高まる。また、ねじ止めは強度があり、やり直しが簡単。のみを使った組みつぎは生活では使う場面は少ないが、強度と先人の技能を体験するにはとてもよい。タッカーを使用したシート張りも身近にあるものなので生徒の興味関心は高い。

個人的には以下のような試作品を作成したが、製作に時間がかかったり、うまく課題を解決できず製作意欲の低下が見られたので、見本として提示している。

今後は、木材にこだわらず地元の材料を使用し、経済や環境との関わりにも理解を深めさせたい。

